

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。

つ の ぶ え

TSUNOBUE

2023年3月1日

第444号



社会福祉法人
小羊学園

住 所 〒433-8105

静岡県浜松市北区三方原町2709-12

電 話 053-584-3337 FAX 053-585-8488

E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人 稲松 義人

印刷所 アド・アール株式会社



今号のMENU

1 P...

理事長巻頭言

2 P-3 P...

入所施設のクリスマス

4 P...

新春エピソード

5 P...

事業所紹介
アグネス

おすすめスポット
うなぎパイファクトリー

6 P...

物品寄贈報告

リレートーク

支える会報告 他



若木のようにお日様をさして伸びて行こう 小羊学園にもうすぐ春が来る！
＝散歩風景＝

1月、ちょうど大寒の頃、日本列島は記録的な寒波に包まれた。浜松は冬になると、遠州のからっ風で体感としては寒いと感じることはあるが、気温はそれほどではなく、雪が降ることはほとんどない地域である。しかし、今年は真正銘寒い日が続いた。むかし、まだ支援員をしていた頃、からっ風の日も頑張って散歩にでかけたのは、私も利用者も若かったからかも知れない。頑張って歩きながら「小羊学園に春が来る」というオリジナル曲を作ったのもその時代である。♪「冷たい風が吹いている、それでも元気に歩こうよ、大きな空を見上げてごらん、お日様はいつもみているよ、小羊学園にもうすぐ春が来る…」(1番)「葉のな枝はさみしいね、それでも確かに生きている、ぼくらもいつか若木のようにお日様をさして伸びて行こう。小羊学園にもうすぐ春がくる…」(2番)という歌詞である。寒風身に染みる季節になるとこの歌を思い出す。最近の小羊学園が置かれている状況は決して安心できる温かいものではない。逆風ではないかと感じることもある。それでも、それに負けず一步を踏み出そうとする気持ちは忘れたくないと思っている。

稲松義人

支援センターわかぎ クリスマス礼拝 聖書

ルカによる福音書 第2章10節～14節

10 天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。11 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。12 あなたがたは、布にくるまって飼料桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」13 すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。

14 「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」

ワイズコロナのクリスマス

小羊学園にとって大切に行っているイベントがクリスマス。コロナ感染防止対応のため、以前のようにご家族や地域の人たちとともに祝うことができなくなっていました。そんな状況でも感染防止を意識しながら実施した入所施設のクリスマス会を報告しますね😊

「スクエア児童部のクリスマス」

原田 千明

三方原スクエア児童部では、コロナ禍で思うように外出等ができない中ではありましたが、クリスマス会でみんなの楽しい笑顔を見ることができました。

●すずらんクリスマス会

すずらんの子ども達には事前にクリスマスで食べたいメニューの希望を聞き、チキンが食べたい、ケーキが食べたいとたくさん意見が出ました。コロナ禍で外食をする機会が減った分、クリスマスをより楽しめるようにテイクアウトをしてクリスマス会をしました。今年は買い出しから子ども達も参加し、一人ひとり好きなメニューを選びました。みんなが飲むジュースは子ども達同士で話し合って決めることができ、とても成長を感じました。

食事のメニューはパスタ、ケンタッキー、スープでした。「おいしい」「お腹いっぱい」と満足そうな声がたくさん溢れていました。制限があり、子ども達が自分で選択をして買い物をする機会は数少ないため良い経験になったと思います。今後も子ども達が選択できる機会を大切にしたいです。


すずらんでの
クリスマスの食事

●サンタさんからのプレゼント

クリスマス会では待ちに待ったサンタさんがプレゼントを持ってやってきました。一人一人サンタさんから手渡しでプレゼントを受け取りましたが、プレゼントを受け取ると、どの子もすぐその場で開けて中身を確認していました。このプレゼントを見た時の子ども達の反応は職員もとてもドキドキする瞬間です。

子ども達へのプレゼントはケース担当の職員が子ども達の好きそうな物を考え悩みながら選んでいます。この時期になると職員達の間でも何を用意したか、どんなものかいいと思うかなどプレゼントの話題が多くなります。

子ども達がプレゼントを見て笑顔になってくれたり、実際に遊んでくれたりしている姿を見ると一安心です。子ども達の喜ぶ姿が私たち職員にとってのクリスマスプレゼントなのかなと毎年この時期になると感じます。コロナ禍は続いています、が無事クリスマスを過ごすことができ子ども達の笑顔をたくさん見ることができました。またご家族も集まってきたクリスマス会を過ごす日々が戻ってきますように。



ワクワクのプレゼント

「わがき 今できるクリスマス会を」

竹田 知弘

コロナ禍で迎えた3年目のクリスマス会。以前のようにお客様、ご家族を招待することができず、利用者・職員に限定されたクリスマス会でしたが、イエス様のご降誕をともにお祝いすることができました。

●コロナ感染対策

利用者はマスクのできない方が多いため、食事場面での飛沫や密になる空間で集った場合、感染を拡げてしまうリスクがあります。そのため、今回はコスモスホール・男性棟・女性棟3か所に分かれてウェブでつながって開催をしました。

●クリスマス礼拝

礼拝も浜北教会・大橋牧師とウェブをつなげて執り行いました。



サンタ女子と記念撮影！

3ヶ所に分かれた各会場でクリスマスのお話しを聞き、讃美歌を歌いました。

●クリスマス祝会

昔懐かしいクリスマスの映像を各会場のモニター・スクリーンで鑑賞しました。その後、お待ちかねのサンタクロースが登場！ 男性陣には女子サンタ、女性陣には男子サンタがやってきて、一人ひとりにプレゼントが手渡されました。みんなサンタからのプレゼントに大喜びでした！

●来年こそ

施設の大きなイベントがどうしてもコロナの影響で縮小されてしまい、利用者も企画する職員もさみしい限りです。来年こそは多くの人たちと交流の機会が持てて、楽しい時間になることを願っています。



プレゼントうれしいな～♪

「つばさ ホームパーティー」

嶋崎 美郷

12月24日クリスマススイブにつばさ静岡のクリスマス会が開催されました。コロナ禍で迎えるクリスマス会も3回目となり、今年もご家族や外部の方の参加は、感染状況を踏まえ見送らせていただきました。

コロナが流行し始めてから、帰省が中止になり、面会も制限があり、大好きな家族と会う機会が減ってしまい利用者たちは、とても寂しい思いをしています。その中で迎えるクリスマス。実行委員でどんなクリスマス会にしようか話し合いを重ねました。温もりのある楽しいクリスマスにしたい、つばさ静岡は皆にとってお家だよ、一緒に生活している仲間はお家だよ、そんな意見



プレゼント交換を兼ねたビンゴ大会



つくしBのホームパーティー

が出ました。そこで、今年のテーマは、『つばさ ホームパーティー』に決定しました。と言っても、まだ全体で集まることは難しい状況です。オンラインで全ユニットを繋ぎ、午前中は委員によるトーンチャイムの演奏とプレゼント交換を兼ねたビンゴ大会を行いました。なかなか一緒に行事を行えない中、他ユニットの方達と楽しい時間を共有することが出来ました。午後は、各ユニットで、ゲームをしたり、家族へ手紙を書いたり、一年を振り返ったスライドショーを観たりして過ごしました。

コロナが落ち着いたら、また大好きな家族を招待して、アットホームなパーティーを開催したいと思います。

2023年の幕開け

みんなはどんなイベントで盛りよがったのかなあ

通所施設のイベント報告

小羊デイケアホーム

昨年末は、コロナに翻弄されてしまいました。年末年始で充電もできたようで、年明けには皆さん清々しいお顔を見せてくれてほっと一安心です。

1月の余暇活動では、ドライブに出掛けたり、面白いやかたるた、書初めにも挑戦したりし、お正月行事を楽しみました。書初めでは、目標や願い、好きな事を文字や線に思いを込め書き上げました。「一日一笑」素敵な言葉を見つけました。楽しい、心地よい、嬉しいと、デイケアホームの皆さんの笑顔あふれる1年にしたいと思います。



書初め中、..

マルカート

新橋町に引越して初めての新年を迎えました。各グループに分かれて近所にあるパワースポットに出掛けました。自動販売機にお汁粉を買に行き飲んでお祝いしたグループもあり、新年への期待を胸にそれぞれの時間を過ごされました。また、成人を祝う会では、今年二十歳を迎える2名の方をお祝いしました。利用者の皆さんもお言葉や握手をしてお祝いの気持ちを伝えて下さいました。今年1年、元気に過ごしたいと思います。



お汁粉でほっこり

オリーブの樹

今年は成人を迎えた利用者をみんなでお祝いしました。主役は、幼少期からオリーブに併設されているわかなを利用していた方で、オリーブの職員も成長を傍で見守っていました。わかな時代から成人を迎えるまでの写真を印刷し、アルバムとして花束と一緒に渡しました。どんなときも笑顔で写っている写真や、みんなの前でアルバムと花束を笑顔で受け取っている姿を見て、この笑顔をこれからも見守っていききたいと思いました。



成人おめでとう！

わたぐも

「フェスタで旅する」コロナ禍で開催されたフェスタ。今までの様に大規模な開催が出来ないがどうしたら皆に喜んで貰えるか考えました。「旅する気分」と称し、日本各地の雰囲気味わい旅している気分になって貰おうと企画しました。沖縄民謡に柑橘の香りで沖縄にいる気分を、北の国からの音楽にラベンダーの香りで北海道の気分を、琴の音色にお茶の香りで京都にいる気分を味わいました。飾り付けをして目で見て、香りを嗅いで、音色を聞いて五感で楽しむフェスタになりました。



五感で味わう旅気分♪

私たちのこともっと伝えたい!

今回は 相談支援事業所アグネス の魅力を伝えます

こんにちは! 相談支援事業所アグネスです。
遠鉄電車助信駅から西へ徒歩約10分のところにアグネスの事務所があります。

現在、相談員6名体制で浜松市内全域を訪問しながら、相談者・事業所職員との面談や福祉サービスの調整を行っています。個人で動くことが多い相談業務でも、相談員同士が相談しやすくするためにコミュニケーションを大切に楽しく仕事をしています♪



アグネス外観



会議場面

福祉サービス利用についての相談が大半ですが、簡単には解決できないような悩みや相談事だけでなく嬉しい報告まで相談内容は多岐にわたります。

相談者が、一人で抱え込まず相談員と共有することで“辛いことは半分に、嬉しいことは倍に”できるようこれからも寄り添った支援を心掛けていきます!!

小羊学園のお勧め!

障がいのある人にやさしい外出スポット

VOL.8

うなぎパイファクトリー

【出掛けよう 発見いっぱいとうなぎパイ工場見学へ!】

言わずとも知れた浜松が誇る銘菓うなぎパイ多くの方が土産に持って行き、相手の方に喜ばれた経験があることでしょうね😊

そのうなぎパイ製造工程を自由に見学しながら、観光気分が味わえ、カフェでスイーツを食べたりお土産を買ったりと魅力度120%のファクトリー。

利用者も大好きな地元お勧めスポットですよ～😊初めての人もリピーターも足を運ばれてみてはいかが?



【有限会社春華堂 うなぎパイファクトリー】

[住所] 浜松市西区大久保町748-51 [定休日] 火曜・水曜日 [営業時間] 10:00-17:30

[電話] 053-482-1765 [入場・駐車場] 無料 *20名以上の団体様は要予約

KOHITSUJI STAFF



リレートーク

Vol.24

ししど あきひと
矢戸 亮仁 さん

2006年入職
生活介護わたくも
サービス管理責任者

Q小羊学園を志した動機は？

高校時代に外出支援ボランティアに携わっていて、障がい者支援に興味があり、また前職で一緒に働いた看護

師さんよりお誘いがあり入職しました。

Qこの仕事の嬉しいことは？

通所事業に携わる中で、様々なご家庭のニーズを把握し生活を通して利用者の笑顔や穏やかな会話をしている些細な日常場面に、幸せを感じています。

Qちょっとプライベートを教えてください！

アウトドアが好きでキャンプや釣り、スノーボードに出掛けています。お正月は森町でグランピングを満喫しました。

Q誰にリレーしましょうか？ また一言メッセージを！

オリブの樹の清川智彦さんにバトンを繋ぎます。仕事のことでなく、お互いの趣味の話でも盛り上がりましょう！

浜松ロータリークラブ様
**タオルご寄贈ありがとうございます
 ございます**

12月28日に浜松ロータリークラブ様が法人本部を訪れタオルをご寄贈くださいました。

施設での必需品であるタオルが必要という私たちのお声を聞いて下さり、毎年年末にご寄贈くださっています。地域の皆様からの支援の輪が広がっていることに、心より感謝申し上げます。



Instagram



Facebook


今年6月から小羊学園の魅力や福祉情報を発信するSNSを始めました。
毎週金曜日に配信していますのでみて下さいね。QRコードから覗いてみてくださいね！

小羊学園公式SNSも見てね

連絡先 つばさ静岡
054-249-2830


つばさ静岡のユニットで利用者のお布団を乾かすために家庭用の布団乾燥機を探しています。ご家庭でお使いになっていない眠っているものがありましたら、ぜひお譲りください。

● 布団乾燥機


家庭に眠っていませんか
小羊学園を支える会
2022年度 寄付金報告

12月～1月分 1,941,000円 (125件)
累計 5,761,796円 (315件)

多くのお支えに感謝申し上げます

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座 00800-8-107785
口座名義 社会福祉法人小羊学園
ゆうちょ銀行 〇八九店 当座預金0107785
口座名義 社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局（鈴木）

小羊学園法人本部 ☎ 053-584-3337

あ と が き

【肥料】あのときのあの苦しみもあの時のあの悲しみも みんな肥料になったんだなあ じぶんが自分になるための みつと

相田みつをさんのこの詩をご存じでしょうか。幼少期に相田さんの詩に出会ってから、悩んだ時には目にするようになっています。自分に起きているすべてのことに対して、成長するための糧になっていることを胸に刻み、エネルギーに変えています。苦しいことを乗り越えたとき、知らないうちに自分が成長していたりします。でもそれは自分にはなかなかわからないものです。知らないうちに自分が作られているのです。

(H)